

2015年度生

[生命医科学部] 医生命システム学科

中一種免(理科), 高一種免(理科)

※ 中一種免(理科)は p. 166~168 を参照。

※ 高一種免(理科)は p. 166~167, 169 を参照。

第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)……………	p.166	
第②欄(教職に関する科目)……………] p.167
第③欄(教科又は教職に関する科目)……………		
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))……………] 理科… p.168~169
第⑤欄(教科に関する科目(選 択))……………		

[単位の履修方法]

	必要単位数	
	中一種免(理科)	高一種免(理科)
第①欄(日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作)	9単位	
第②欄(教職に関する科目)	35単位	29単位
第④欄(教科に関する科目(必修・選択必修))	46単位	40単位
上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択		
合 計	90単位	78単位

医生命システム学科 中一種免(理科), 高一種免(理科)				
日本国憲法・体育・外国語コミュニケーション・情報機器の操作				
	免許法施行規則に定める科目	本 学 基 準		
		科 目 名	単 位	履 修 方 法
第 ① 欄	日本国憲法	日本国憲法	2	2単位必修
		憲法 1	2	
		憲法 2	2	
	体 育	スポーツ・パフォーマンス 1 *	1	必 修
		健康の科学 *	2	2単位必修
		スポーツの科学 *	2	
		スポーツと健康 *	2	
トレーニングの科学 *		2		
スポーツの心理 *	2			
外国語コミュニケーション	コミュニケーション・イングリッシュ 1 *	1	必 修	
	コミュニケーション・イングリッシュ 2 *	1		
情報機器の操作	コンピュータプログラミング	2	必 修	

*は全学共通教養教育科目

2015年度生 医生命システム学科 中一種免(理科), 高一種免(理科)

教職に関する科目, 教科又は教職に関する科目

	免許法施行規則に定める科目区分等		本学基準		
	科目	各科目に含める必要事項	授業科目	単位数	履修方法
第②欄 (教職に関する科目)	教職の意義に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容(研修, 服務及び身分保障等を含む。) ・進路選択に資する各種の機会の提供等	教職概論	2	必修
	教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	必修
		・幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児, 児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)	発達と学習の心理学	2	必修
		・教育に関する社会的, 制度的又は経営的事項	学校経営と法規 学校教育社会学 人権教育論	2 2 2	1科目必修 必修
	教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論	2	必修
		・各教科の指導法	① 教科教育法A1(理科) ② 教科教育法A2(理科) ③ 教科教育法B(理科) ④ 教科教育法C(理科)	2 2 2 2	中一種免(理科)および中高両方の場合は①③④が必修 高一種免(理科)のみは③④が必修
		・道徳の指導法	※ 道徳教育の理論と実践	2	中一種免のみ 必修
		・特別活動の指導法	特別活動論	2	必修
		・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	視聴覚教育	2	選択
			教育方法論	2	必修
	生徒指導, 教育相談及び進路指導に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導の理論と方法	2	必修
		・進路指導の理論及び方法			
		・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談 学校カウンセリング	2 2	1科目必修
	教育実習		教育実習指導	1	必修
			教育実習 A	2	中一種免および中高両方の場合「AとB」または「C」が必修,
教育実習 B			2		
教育実習 C			4	高一種免のみは「B」が必修	
教職実践演習		教職実践演習(中・高)	2	必修	
第③欄	教科又は教職に関する科目		※ 道徳教育の理論と実践	2	高一種免のみ選択

※「道徳教育の理論と実践」は中一種免では必修科目, 高一種免の場合は「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されます。

[注]1. 取得しようとしている教科の教科教育法以外の教科教育法を修得しても, 免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄には単位数として算入できないので注意して登録すること。

2. 中一種免と高一種免の両方の免許を取得しようとしている場合, 教育実習Cを履修することによって, 高一種免の第②欄の必要な単位数を2単位オーバーすることになるが, この2単位は免許・資格関係履修要項の「上記単位に加え, 第②, ③, ④, ⑤欄より選択」の欄の単位数には算入できないので注意して登録すること。

2015年度生 医生命システム学科 中一種免(理科) 教科に関する科目					
第④欄	教科に関する科目(必修・選択必修科目)	免許法施行規則に定める科目	科目名	単位	履修方法
		物理学	物理学基礎 放射線科学 超音波エレクトロニクス	2 2 2	必修 これら2科目から 1科目2単位選択必修
化学	化学 生体物質分析化学 生化学	2 2 2	必修		
生物学	生命医科学概論 生物学 微生物学 細胞生物学Ⅰ 人体の構造と機能Ⅰ ケミカルバイオロジー 分子生物学Ⅰ システム生物科学 ヒトの病理と防御システムⅠ ヒトの病理と防御システムⅡ 人体の構造と機能Ⅱ 人体の構造と機能Ⅲ	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	必修		
地学	地学概論Ⅰ	2	必修		
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	物理実験	2	必修		
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	化学実験	3	必修		
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)	医生命基礎実験 分子生物学実験	2 2	必修		
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)	地学実験	1	必修		
第⑤欄	教科に関する科目(選択科目)	電気回路・電子回路 電磁気学 流体力学 電子計測 細胞生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 神経科学 神経情報伝達制御学 地学概論Ⅱ	2 2 2 2 2 2 2 2 2	選択	

○実験実習料の納入について

[生命医科学部生]

物理実験、化学実験、地学実験については実験実習料が必要になります。詳細は生命医科学部履修要項・登録要領編を参照してください。

[生命医科学部以外の学生および全研究科大学院生]

教科に関する科目のうち実験科目を履修する場合は実験実習料が必要になります。実験実習料の詳細については、登録の際に京田辺キャンパス教務センターにて確認してください。

2015年度生 医生命システム学科 高一種免(理科) 教科に関する科目

		免許法施行規則に定める科目	科目名	単位	履修方法
第④欄	教科に関する科目(必修・選択必修科目)	物理学	物理学基礎	2	必修 これら2科目から1科目2単位選択必修
			放射線科学	2	
			超音波エレクトロニクス	2	
		化学	化学	2	必修
			生体物質分析化学	2	
			生化学	2	
		生物学	生命医科学概論	2	必修
			生物学	2	
			微生物学	2	
			細胞生物学Ⅰ	2	
人体の構造と機能Ⅰ	2				
ケミカルバイオロジー	2				
分子生物学Ⅰ	2				
システム生物科学	2				
ヒトの病理と防御システムⅠ	2				
ヒトの病理と防御システムⅡ	2				
地学	地学概論Ⅰ	2	必修		
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、 化学実験(コンピュータ活用を含む。)、 生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、 地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	2	必修		
第⑤欄	教科に関する科目(選択科目)	電気回路・電子回路	2	選択	
		電磁気学	2		
		流体力学	2		
		電子計測	2		
		細胞生物学Ⅱ	2		
		分子生物学Ⅱ	2		
		神経科学	2		
		神経情報伝達制御学	2		
		地学概論Ⅱ	2		
		物理実験	2		
		化学実験	3		
		地学実験	1		

○実験実習料の納入について

[生命医科学部生]

物理実験、化学実験、地学実験については実験実習料が必要になります。詳細は生命医科学部履修要項・登録要領編を参照してください。

[生命医科学部以外の学生および全研究科大学院生]

教科に関する科目のうち実験科目を履修する場合は実験実習料が必要になります。実験実習料の詳細については、登録の際に京田辺キャンパス教務センターにて確認してください。